

涼しい紋別に行こう!

紋別市は、北海道オホーツク海沿岸の中央に位置し、8月の平均気温は23℃前後と首都圏より10℃ほど低く、爽やかな海風により冷涼で快適な気候です。
海と山に囲まれているため、美味しい空気と、新鮮な海の幸、山の幸が豊富に味わえます。

アクセスガイド

各地域までの所要時間と交通手段



●ACCESS

マイカー
紋別～各都市までの距離＆所要時間
(乗用車で移動した場合)

稚内	網走	帯広	旭川	札幌
214km	116km	238km	142km	274km
3時間 48分	2時間 08分	4時間 15分	2時間 19分	3時間 53分

バス
運行回数や発着時間は季節などにより変わります。

●路線バス(紋別～遠軽)
北紋バス ☎0158-24-2165

●都市間バス(紋別～旭川～札幌)
道北バス ☎0158-24-8234

旭川～紋別	札幌～紋別	遠軽～紋別
約3時間	約5時間	約1時間

エアーライン
運行回数や発着時間は季節などにより変わることがあります。

●ANA(全日空)
紋別空港～羽田空港(東京)
所要時間 約2時間

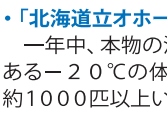
●空港連絡バス
紋別空港～紋別市街(バスターミナル)
所要時間 約15分

・「流水砕氷船・ガリンコ号Ⅲ」



「日本で唯一流水がくるオホーツク海」
冬は流水を大きなドリルで砕きながら進み夏は手ぶらで来て楽しめる、フィッシングクルーズが体験できます。

・「北海道立オホーツク流水科学センター GIZA」



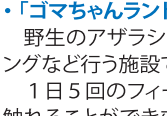
一年中、本物の流水が見られる科学館で、流水のある－20℃の体験室や、流水の使者クリオネが約1000匹以上いる「クリオネハウス」は圧巻です。

・「北海道立オホーツク流水公園」



「試みて進化する公園」をキャッチコピーに、「あおぞら交流館」・「海と大地の遊び場」など利用者に合わせた各施設があり、行楽期にも様々な催しが開催されます。

・「ゴマちゃんランド・オホーツクとっかりセンター」



野生のアザラシを保護し、自然復帰へのトレーニングなど行う施設です。
1日5回のフィーディングタイムでは、アザラシに触れることができます。

■開催趣旨

国内を代表するクラシックの音楽家を講師に招き、その門下生やクラシック音楽を志す学生など、音楽を学びたい多くの練習生が集い学びあえる「オホーツク紋別音楽セミナー」を開催いたします。

私たちが息づくこのオホーツク紋別の地をやすらぎや生きがいを感じる場として育んでいくことが大切であると考えています。地域の人々が国際コンクールでの活躍や将来を担う若き演奏家を育むことが地域文化の刺激になり、又優れた音楽にふれることを求めて同好の多くの人々が集い「人」「物」「情報」の交流が盛んになることにより、地域の発展や街づくりに結びついて行くものと期待するものです。

音楽を通じて「オホーツクを文化の薫り高い地域に」を合言葉にオホーツク紋別の人々が心豊かな音楽になれ親しみ、優れた音楽家を一緒に育て応援することが我が街の誇りとなるような街づくりを目指します。

- 主催／紋別市教育委員会
- 主管／オホーツク紋別音楽セミナー実行委員会
- 後援／紋別市・一般財団法人 北海道公立学校教職員互助会
- 協力／株式会社 紋別観光振興公社

■開催場所【セミナー会場】

紋別市民会館	紋別生涯学習センター
〒094-0006 紋別市潮見町1丁目4番3号 TEL.0158-24-2416	〒094-0023 紋別市元紋別140番地の1 TEL.0158-23-2474



過去の様子や最新の情報がQRコードからご覧になれます。

セミナーホームページ <http://omms.info/>

【弦楽器部門】ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ

Okhotsk Mombetsu music seminar 2023

【オホーツク紋別音楽セミナー 2023】
【弦楽器部門】8/14(月)～8/20(日)

受講生募集のご案内
【申込期間】5/8(月)～6/9(金)

■講習概要

講習内容	●各講師による弦楽器（ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ）のレッスン（50分間×4回の個人レッスン） ●弦楽合奏 ●受講生のソロ演奏によるフレッシュコンサート ●講師と受講生によるセミナーコンサート
レッスン場	紋別市民会館・紋別市文化会館と紋別生涯学習センターに楽器ごとで、分かれてレッスンをを行います。(フレッシュコンサート・セミナーコンサートは、紋別市民会館で行います。)
受講料	【北海道外方面】（航空機：羽田空港～紋別空港利用の場合） 〈東京羽田・紋別往復航空運賃、滞在期間中の宿泊費、朝食代、その他〉 ●ヴァイオリン部門／204,200円 ●ヴィオラ部門／215,700円(楽器席シェア料金込み) ●チェロ部門／227,200円(楽器席料金込み) ただし、宿泊形態がシングルの場合の金額となります。 宿泊形態がツインの場合は、往復航空運賃を含めマイナス6,600円となります。 キャンセルの場合、旅行代金に20%（8日前まで）から100%（当日）の取消料がかかります。 【北海道内方面】（航空機を利用しない場合） 〈滞在期間中の宿泊費、朝食代、その他〉 ●ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ各部門／各140,600円 ただし、宿泊形態がシングルの場合の金額となります。 宿泊形態がツインの場合は、マイナス6,600円となります。 ※受講料には、昼食代、夕食代は含まれておりません。 ※北海道内方面の受講料には、交通費は含まれておりません。 当市までは自己負担となります。 ※楽器の機内持ち込みについて、ケースの形状により、楽器席を導入するか、手荷物カウンターにて受託手荷物として預けなければなりません。 楽器席は、往復23,000円で用意しておりますので、申し込み時に、別途申し込みください。
申込先	オホーツク紋別音楽セミナー実行委員会に、お申し込みください TEL 0158-24-2416 FAX 0158-23-5603 メールアドレス：shakaikyoku@city.mombetsu.lg.jp
申込受付	5月8日(月)～6月9日(金) 定員：ヴァイオリン 28人・ヴィオラ 10人・チェロ8人 ※定員になり次第締切らせていただきますのでご了承ください。
宿泊場所	紋別プリンスホテル 〒094-0004 北海道紋別市本町7丁目3-26 TEL:0158-23-5411 ※部屋割りに関しては、事務局に一任させていただきますのでご了承ください。
その他	※宿泊ホテルからレッスン会場の移動は貸切バスを利用します。 ※宿泊ホテル内では楽器の音出しは出来ません。 ※受講申込者には後日事務局より関係書類を送付致します。 ※新型コロナウイルスの感染拡大状況により開催を中止する場合があります。

●お申込み・お問い合わせ●

オホーツク紋別音楽セミナー実行委員会

〒094-0006 紋別市潮見町1丁目4-3 紋別市民会館内
TEL.0158-24-2416 FAX.0158-23-5603

※都合により内容が変更される場合がありますので予めご了承ください。

■講師プロフィール

《弦楽器部門》講師陣



■プロデューサー
菅沼 準二 Junji Suganuma
東京藝術大学名誉教授

東京藝術大学卒業 巖本真理弦楽四重奏団に長く在籍した後1976年NHK交響楽団の首席ヴィオラ奏者として入団。1990年にN響を退団後、東京藝術大学教授に就任。現在は、東京藝術大学名誉教授、ジャパン・ストリング・カルテット、東京クライス・アンサンブルのメンバー

■ヴァイオリン(ディレクター)
澤 和樹 Kazuki Sawa

前 東京藝術大学長、東京藝術大学及び英国王立音楽院名誉教授

東京藝術大学大学院修了。ロン＝ティボー、ヴィエニアフスキ、ミュンヘンなどの国際コンクールに入賞。イザイ・メダル、ホルダー音楽祭金メダル受賞などヴァイオリニストとして国際的に活躍。'90年、澤クワレテットを結成。'96より指揮活動を開始。日本音楽コンクール、東京音楽コンクール、ティボール ヴェルガ、ロン＝ティボー、大阪国際室内楽コンクール、宗次エンジェル、ロンドン弦楽四重奏コンクールなどの審査員を歴任。2004年、和歌山県文化賞受賞。東京藝術大学音楽学部教授、音楽学部長を経て16年より22年まで東京藝術大学長。23年より東京大学先端科学技術研究センター フェロー。



■ヴァイオリン
漆原 朝子 Asako Urushihara
東京藝術大学教授、大阪音楽大学特任教授

東京藝術大学附属高等学校在学中に日本国際音楽コンクールで最年少優勝。ジュリアード音楽院卒業。1988年NHK交響楽団定期公演デビュー、ニューヨークでのリサイタル・デビューでも絶賛を博す。マールボロ音楽祭でルドルフ・セルキン等と共演、ザルツブルク音楽祭などにも登場し、内外のオーケストラとの共演も数多い。アリオン賞、モービル音楽賞奨励賞、姉・啓子とのデュオのCDで文化庁芸術祭優秀賞受賞。

■ヴァイオリン
沼田 園子 Sonoko Numata
東京藝術大学講師、洗足学園音楽大学教授

東京藝術大学音楽学部大学院博士課程単位習得。パガニーニ生誕200年祭国際ヴァイオリンコンクール、マリア・カナルス、アルベルト・クルチ各国際コンクールに上位入賞。日本音楽コンクール作曲部門の演奏でコンクール審査委員会特別賞、アール・レスピランのメンバーとして中島健蔵賞を、静岡県文化奨励賞をそれぞれ受賞。1990年より水戸室内管弦楽団の常任メンバーを25年務める。ヨーロッパ各地でも協奏曲、リサイタル、室内楽のコンサートに出演。ファイン・デュオとしてリサイタルを全国にて開催。2015年カルテット・ブラチナムを主幹結成。



■ヴァイオリン
澤 亜樹 Aki Sawa
東京藝術大学音楽学部非常勤講師／藝大フィルハーモニア管弦楽団コンサートマスター

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、同大学音楽学部首席卒業、同大学院音楽科修士課程修了。学内にて安宅賞、アカンサス音楽賞、大学院アカンサス音楽賞受賞。英国王立音楽院に留学し、最高位を得て首席卒業。青山音楽賞新人賞、松方ホール音楽賞受賞。これまでに藝大フィルハーモニア管弦楽団、ウクライナ国立フィルハーモニーなどと共演。2015～17年度東京藝大音楽学部非常勤講師。



■ヴァイオリン
田野倉 雅秋 Masaaki Tanokura

4歳よりスズキメソッドにてヴァイオリンを始める。東京芸大附属高校を経て東京芸術大学に進学後ジュリアード音楽院より学士号取得。故小国英樹、原田幸一郎、清水高師、ドロシー・ディレイ、川崎雅夫、チョーリヤン・リンの各師に師事。日本音楽コンクール第2位、ニールセン国際コンクール優勝。広島交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター、大阪フィルハーモニー交響楽団首席コンサートマスターを経て、現在兵庫芸術文化センター管弦楽団コンサートマスター及び日本フィルハーモニー交響楽団ソロ・コンサートマスターをつとめる。

■ヴィオラ(アシスタントディレクター)
市坪 俊彦 Toshihiko Ichitsubo

東京藝術大学教授／沖縄県立芸術大学非常勤講師

東京藝術大学附属高等学校、同大学を経て、1992年同大学大学院を修了。在学中、東京文化会館推薦音楽会オーデション、NHK洋楽オーデション等に合格。芸大にて安宅賞を受賞。現在は澤クワレテット、紀尾井ホール室内管弦楽団、東京クライス・アンサンブルのメンバーをつとめており、定期的なりサイタル開催のほか、近年は南西ドイツフィルとの共演や、クーブラ音楽祭(イタリア)などへの出演など、ソロ、室内楽、オーケストラの分野で幅広い演奏活動をおこなっている。



■ヴィオラ
大野 かおる Kaoru Ohno

東京藝術大学、東京音楽大学、講師／大阪芸術大学客員教授

5歳よりヴァイオリンを始める。東京藝術大学付属音楽高校入学、ヴィオラに転向する。同大学を経て東京藝術大学大学院修了。在学中より活発な演奏活動を開始。藝大モーニングコンサートではタウイッドのヴィオラ協奏曲を日本初演、ターティス国際ヴィオラコンクール(イギリス)では2つの特別賞を、東京国際音楽コンクール「室内楽」では第一位入賞、併せて2つの特別賞も受賞。ソロと室内楽を中心に国内外のコンサートや音楽祭で幅広く活躍、著名なアーティストとの共演も数え切れない。現在はアンサンブルoftウキョウ、カルテット・プラチナムのメンバーとしても活躍する。

■チェロ
花崎 薫 Kaoru Hanazaki

愛知県立芸術大学音楽学部教授／名古屋音楽大学客員教授／東京藝術大学非常勤講師／武蔵野音楽大学非常勤講師／大阪フィルハーモニー交響楽団客演首席奏者

東京藝術大学在学中、ドイツ学術交流会給費留学生としてベルリン芸術大学に留学。東京藝術大学在学中に安宅賞を受賞。1981年、第50回日本音楽コンクール、チェロ部門3位入賞。1986年文化庁、文化庁在外研修員としてドイツ、カールスルーエ音楽大学にて研鑽を積み、長年にわたり新日本フィルハーモニー交響楽団、首席奏者として歴代の指揮者のもと、オーケストラを支えた。東京クライス・アンサンブルメンバーとして室内楽の分野でも活動を行う。東京シンフォニエッタのメンバーとして、2011年サントリー芸術財団、佐治敏三賞を受賞。2013年、ベートーヴェン、チェロとピアノの為の全作品のCDを発売する。



■チェロ
向山 佳絵子 Kaeko Mukoyama
京都市立芸術大学准教授

東京生まれ。東京藝術大学を経てドイツ・リュベック国立音楽大学に留学。松波恵子、堀江泰氏、レーヌ・フラシー、毛利伯郎、ダヴィド・グリンガスの各氏に師事。第54回日本音楽コンクール第1位。第10回ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール第1位。第3回アリオン賞審査委員奨励賞、第2回出光音楽賞受賞。世界の一流演奏家や、N響、東京都響、読売日響他多くのオーケストラと共演のほか、NHK-FMに度々出演し、演奏はもちろんバー・ソナリティも務めた。また、BSクラシック倶楽部等テレビでも度々取り上げられている。2017年まで4年間、N響の首席奏者も務めた。録音は5枚のソロアルバムのほか、池辺晋一郎と三善晃のチェロ協奏曲や、12人のチェロ・アンサンブルのCDもそれぞれ発売。現在、京都市立芸術大学准教授として後進の指導を務める傍ら、日本を代表する実力派チェリストとしてリサイタル、室内楽、公演プランナーと多彩に活躍している。

Okhotsk Mombetsu music seminar 2023



■コントラバス
那須野 直裕 Naohiro Nasuno

東京藝術大学附属音楽高等学校教諭／RMAJ副理事長
東京シンフォニエッタ／アンサンブル東風メンバー

島根県出身、東京藝術大学卒業 永島義男氏に師事。第66・84回日本音楽コンクール委員会特別賞を受賞、現代音楽アンサンブルの演奏会において 第3・10回佐治敏三賞を受賞する。これまでにノルマンディーの10月音楽祭(仏)、アリカンデ音楽祭(西)、フェスティバル・アテンボ(委)、プレゾンズ音楽祭(仏)等の海外の現代音楽祭に多数参加し高い評価を得ている。2015年まで東京藝術大学音楽学部管弦楽研究部非常勤講師を務める。

■ピアノ
蓼沼 恵美子 Emiko Tadenuma

洗足学園音楽大学、桐朋学園芸術短期大学講師

東京藝術大学を首席卒業。『安宅賞』受賞。同大学院修了後、ロンドンにてマリア・クルチョ女史に師事し研鑽を積み、ミュンヘン国際コンクール、ヴァイオリン・ピアノ二重奏部門にて第3位入賞。アンサンブルピアニストとして著名アーティストと多数共演、高い信頼を得ている。国内外の音楽祭に招聘されるほか、ヘンシエル弦楽四重奏団との共演によるピアノ／五重奏、澤和樹とのデュオなど、多数のCDが音楽誌上で高く評価されている。



■ピアノ
鳥羽 亜矢子 Ayako Toba

東京藝術大学を経て、インディアナ大学にて研鑽を積み、渡米後、巨匠ヤー・ジュ・シュタルケル氏、ミリアム・フリード女史の専属アシスタントピアニストを務めた他、ケネディー・センター・テラス・アター(ワシントンD.C.)でのミレニアムコンサート等、国内外の演奏会に多数出演。帰国後、国内外に於いてリサイタルでの共演や伴奏、弦楽セミナー、コンクールやマスタークラスの公式ピアニストを務めており、2016年まで東京藝術大学音楽学部弦楽科及び指揮科非常勤講師(伴奏助手、演奏研究員)を務める。

■ピアノ
谷合 千文 Chifumi Taniai
東京都立総合芸術高校非常勤講師

東京都立芸術高校を経て東京藝術大学、同大学院室内楽科を修了。主にアンサンブルの分野において活動を担い、東京藝術大学弦楽科にて伴奏助手を2018年まで務めた他、日本フルートコンヴェンション、二期会オペラ研修所、バレエ団芸術座などでピアニストを歴任。幅広いジャンルのカバリーに定評がある。



《受講者の声》

・大自然の中でレッスンができて気分が上がったし、たくさんの音楽の仲間たちと共に楽しく過ごすことができました。なにより大ホールでソロ演奏の機会をいただけたことが私にとって貴重な経験でした。今回携わってくださった実行委員会の皆さまや講師の方々に感謝しかありません。本当にありがとうございました。また機会があったら参加したいです。

・初日はわけもわからず、少し不安な部分もありましたが、日を経るにつれて講師の先生方とも、同じ受講生の方とも交流ができて、最終日には帰りたくないと思えるほど楽しく、充実した日々でした。合奏もあり、ソロの演奏だけでは得られない一体感もあって、本当に勉強になりました。

・参加して良かった。普段は観ていただけない先生に指導していただき、大変参考になったし、毎日が楽しかったです。

・紋別という場所で、1週間仲間たちと切磋琢磨する時間は、とてもかけがえのないものでした。同じ夢を追いかける者同士、感化されながら、自分の演奏を見つめ直す良い機会、貴重な機会になったと思います。また来年以降、機会があれば、是非とも参加したいと思っています。

(日程表)

月 日	内 容
8月14日(月)	羽田空港10:45発～紋別空港12:30着 ホテル到着後 昼食(弁当) 14:00～ オリエンテーション 16:00～21:30 レッスン・個人練習
8月15日(火)	9:30～21:30 レッスン・個人練習・(弦楽合奏練習)
8月16日(水)	9:30～21:30 レッスン・個人練習・(弦楽合奏練習)
8月17日(木)	9:30～21:30 レッスン・個人練習・(弦楽合奏練習) (10:00～11:30 音楽教室)
8月18日(金)	9:30～12:00 個人練習・(弦楽合奏練習) 13:30～ フレッシュコンサート(ソロ演奏) 19:00～ バーベキューパーティー
8月19日(土)	10:00～ コンサートリハーサル 15:00～ セミナーコンサート 18:00～ 交流会
8月20日(日)	9:00～ 紋別市内観光 紋別空港13:00発～羽田空港14:55着

※内容は変更する場合があります。